

日米投信概況

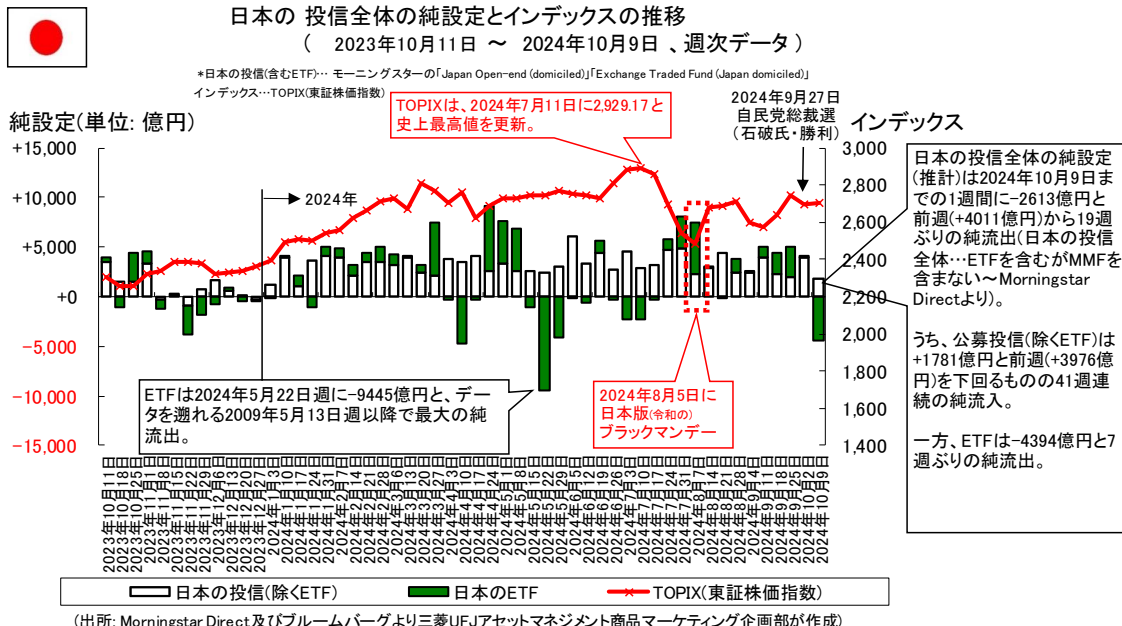
米国で中国株ファンド(ETF)に過去最大の純流入！インドや日本から中国へシフト？～世界の中国株投資ファンドフロー～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
窪田真美 (mamii-kubota@am.mufg.jp)

- 日本の投信は19週(4か月強)ぶり純流出！日本株のETF・インデックスFからの流出!!
10月27日衆院選や11月5日米大統領選を前に利食い(解約).....p.1
- 米国で中国株ファンド(ETF)に過去最大の純流入！インドや日本から中国へ世界的なポートフォリオのシフト/ローテーション変化か？～世界の中国株投資ファンドフロー～.....p.4

●日本の投信は19週(4か月強)ぶり純流出！日本株のETF・インデックスFからの流出!! 10月27日衆院選や11月5日米大統領選を前に利食い(解約)

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年10月9日(水)までの1週間に-2613億円と5月29日週以来19週(4か月強)ぶりの純流出(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。公募投信(除くETF)は+1781億円と41週連続純流入(新NISAが始まった2024年1月来純流入)だが、**ETFが-4394億円と7週ぶりの純流出だった。日経225やTOPIXに連動する大型ETFからの純流出が大きい。**



公募投信(除くETF)の最新10月9日週の純設定額+1781億円について分類別に見る。純流入1～5位は北米株、グロ
ーバル株、日本債-中長期、インド株、モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション。**日本株大型グロースが最
大の純流出。個別でみると日経225連動インデックスファンドによるところが大きい。**最新10月9日週に-336億円
と、(石破茂氏が自民党総裁選に勝利した)前週10月2日週(-415億円)より減少も、3週連続純流出だ。**日経平均は石破茂氏
が自民党新総裁に決定した翌営業日2024年9月30日に急落**(前営業日比-1,910.01円/-4.80%の37,919.55円)。9月27日(石
破茂氏の自民党総裁決定前)には39,829.56円と2024年7月19日以来高値(2024年8月5日に付けた31,458.42円から+26.61%上)まで付
けていた。10月11日は39,605.80円と9月30日に付けた37,919.55円から+4.45%上まで戻している。



日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2024-10-09現在

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+144,415	+99,915	+375,688	20,468,789	北米株
2	World Equity	+93,214	+117,705	+347,845	17,217,822	グローバル株
3	Japan Bond - Long/Intermediate	+41,574	+11,190	+74,017	4,065,226	日本債-中長期
4	India Equity	+8,813	+16,763	+38,103	3,078,208	インド株
5	Moderately Aggressive Allocation	+7,040	+15,408	+39,052	4,481,840	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
6	Moderate Allocation	+5,045	+15,279	+27,835	3,492,927	モデレート・アセットアロケーション
7	World ex-Japan Equity	+2,543	+58,406	+83,770	11,500,280	グローバル株-日本を除く
8	Aggressive Allocation	+2,288	+4,172	+12,425	861,701	アグレッシブ・アセットアロケーション
9	Japan Large-Cap Blend Equity	+2,093	+18,196	+31,796	4,862,564	日本株大型ブレンド
10	World High Yield Bond Global - JPY Hedged	+2,014	+164	+2,468	68,321	グローバル・ハイイールド債-円ヘッジ
61	Greater China Equity	-393	+373	-340	116,996	中国株
70	Asia/Pacific Equity	-752	-280	-1,365	105,837	アジア/パシフィック株-日本を含む
87	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,703	-1,861	-8,517	1,049,391	日本中小型グロース株
88	World ex-Japan Bond	-2,872	+14,357	+23,959	3,134,753	グローバル債-日本を除く
89	World Other Bond	-2,889	-2,640	-9,342	517,864	その他グローバル債
90	Japan Specialty Equity	-3,014	+2,219	-818	759,062	日本・特定テーマ/セクター株
91	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-4,952	-775	-7,999	1,245,429	日本中小型バリュー株
92	Trading - Leveraged/Inverse Equity	-9,833	-10,455	-25,427	663,304	トレーディング・レバレッジド/インバース株
93	Japan REIT	-10,389	-1,442	-12,231	2,144,677	日本REIT
94	Alt-Multistrategy	-17,891	+12,566	-2,219	804,149	オルタナティブ・マルチストラテジー
95	World Specialty Equity	-20,987	+5,691	-27,392	12,557,742	グローバル・特定テーマ/セクター株
96	Japan Large-Cap Growth Equity	-33,563	-41,512	-75,443	6,210,865	日本株大型グロース
全96分類の合計		+178,054	+397,558	+990,713	132,245,943	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+2.08	+1.00	+7.99		
S&P500		+1.47	-0.20	+4.39		
MSCI ワールド		+0.84	-0.19	+4.00		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数。

上記は週次だが、下記は投信(除くETF)、次頁上段はETFの日次純設定を投資対象別に見たものである。

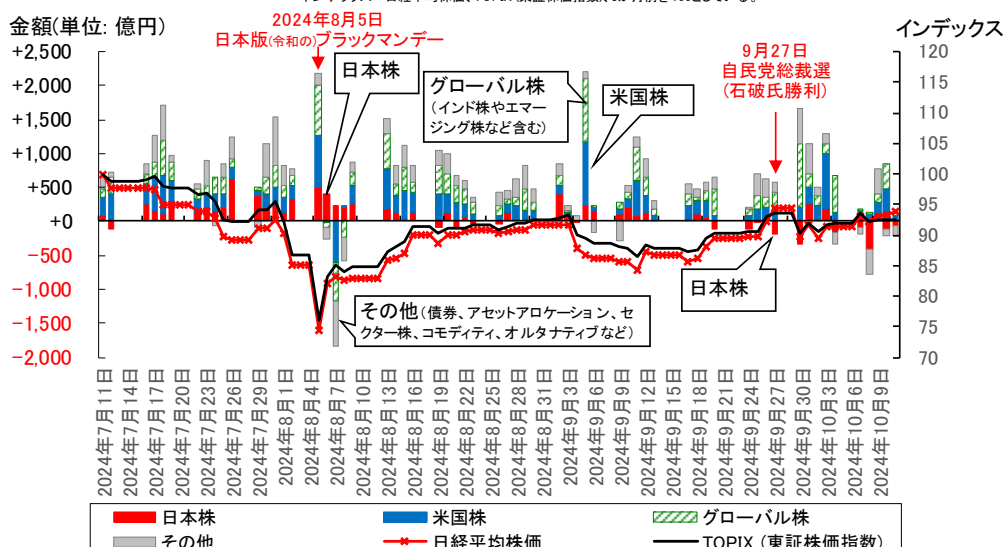


日本の投信(除くETF)の投資対象別純設定推計とインデックスの推移(日次)

2024年7月11日 ~ 2024年10月11日

日本の投信(除くETF)…モーニングスターの「Japan Open-end (domiciled)」

インデックス…日経平均株価、TOPIX (東証株価指数)、3か月前を100としている。



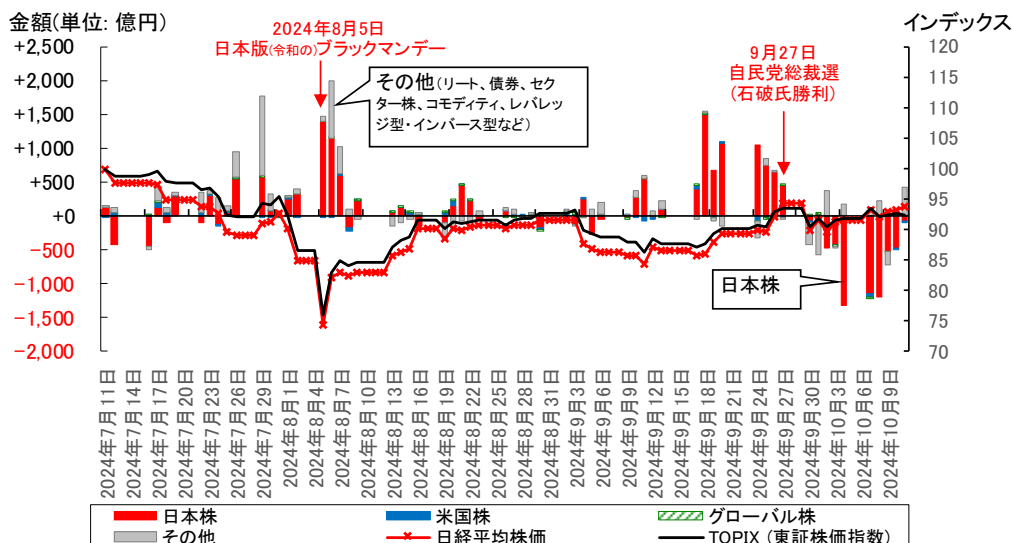
(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)



日本のETFの投資対象別純設定推計とインデックスの推移(日次)

2024年7月11日 ~ 2024年10月11日

日本の投信(除くETF)…モーニングスターの「Japan Open-end (domiciled)」
インデックス…日経平均株価、TOPIX (東証株価指数)、3か月前を100としている。



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

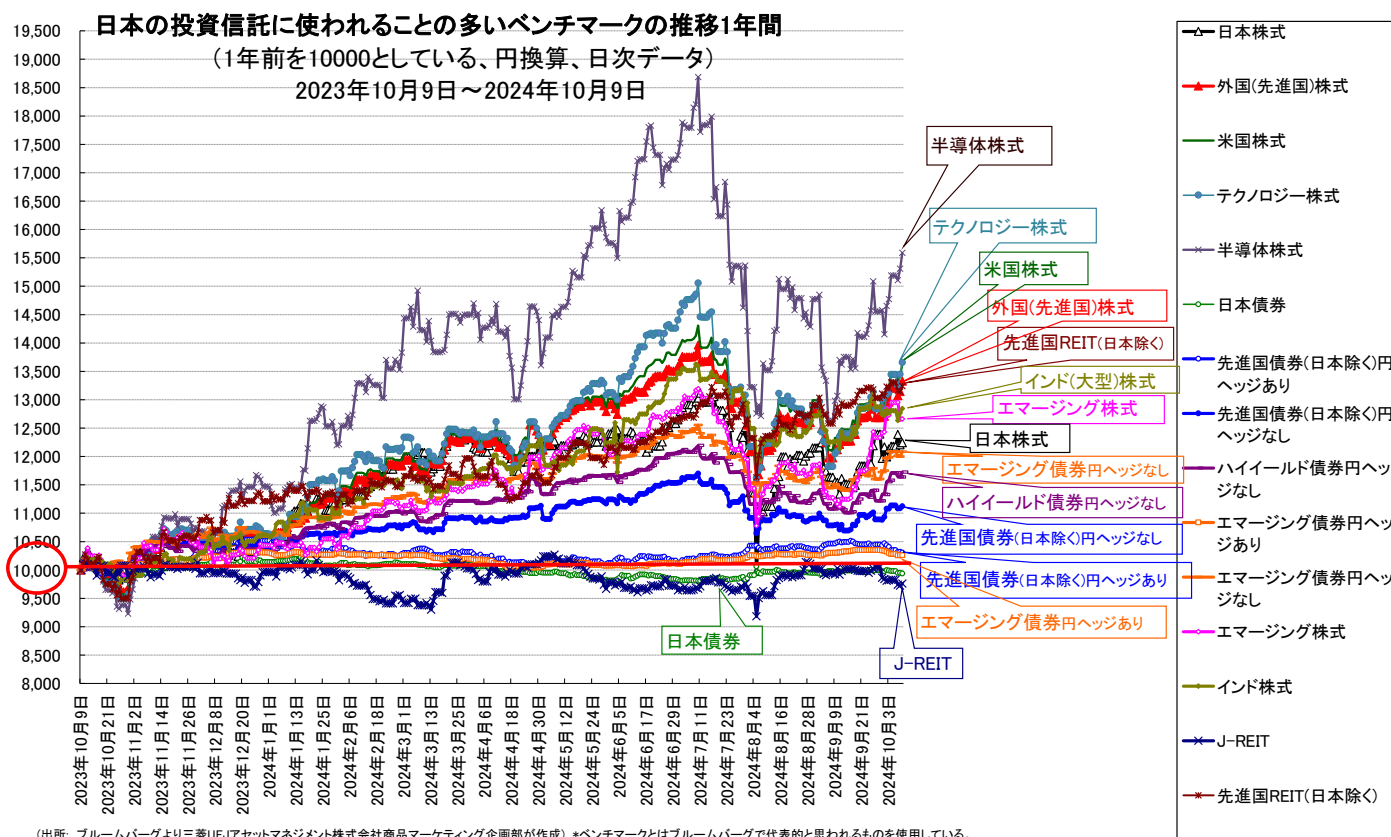
2024年8月5日の日本版(令和の)ブラックマンデーでも純流入を維持した日本株が9月20日以降純流出傾向である

(2024年9月2日付投信調査レポートNo.422「日本で日本版(令和の)ブラックマンデーが何も無かった様に投信純流入! 米国ではNYダウが最高値更新となる中、日本株に5週ぶり純流入!」~ https://www.am.mfg.jp/report/investigate/report_240902.pdf)

2024年9月27日(石破茂氏の自民党総裁決定前)に**-189億円**の純流出、翌営業日9月30日に**-326億円**と純流出加速、10月1日~3日に純流入も、10月4日の**-170億円**の純流出以降、再び純流出傾向で10月8日には**-401億円**の純流出(→10月9日+84億円→10月10日**-113億円**→10月11日**-63億円**)となっている。

日経平均/日経225は2024年8月5日に31,458.42円という2023年10月31日以来安値(2024年7月11日の過去最高値42,224.02円から-25.50%下)を付けてから反発傾向にあり、2024年9月27日(石破茂氏の自民党総裁決定前)には39,829.56円と2024年7月19日以来高値(2024年8月5日に付けた31,458.42円から+26.61%上)を付けた。その後日経平均は調整したものの、2024年10月7日には39,332.74円まで戻している。2024年10月11日(金)に39,605.80円、3連休明けの2024年10月15日(月)には日中2024年7月19日以来の4万円台まで付けている。日経平均4万円台は日本が3連休中の10月14日の米国株式市場でNYダウが43,065.22米ドルと過去最高値を付けた事が大きい。2024年10月27日(日)の衆院選、2024年11月5日(火)の米大統領選を前に利食い(解約)が出ている可能性が高い。

(2024年10月15日付日本版ISAの道 その411「石破政権は新しい資本主義を加速、資産運用立国を引き継ぎ発展、投資大国日本を実現〜林芳正内閣官房長官と加藤勝信財務相兼金融担当相と赤沢亮正経済再生担当相、金融行政方針も継承〜」~ <https://www.am.mfg.jp/report/investigate/>)



●米国で中国株ファンド(ETF)に過去最大の純流入！ インドや日本から中国へ世界的なポートフォリオのシフト/ローテーション変化か？～世界の中国株投資ファンドフロー～

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年10月9日までの1週間に+107億ドル/約1.6兆円と8週連続純流入

(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-98億ドル/約1.5兆円と16週連続の純流出。一方、ETFは+205億ドル/約3.1兆円と25週連続の純流入となった(継続的なミューチュアルファンドの純流出と

ETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mifx.jp/report/investigate/column_21127.pdf)o

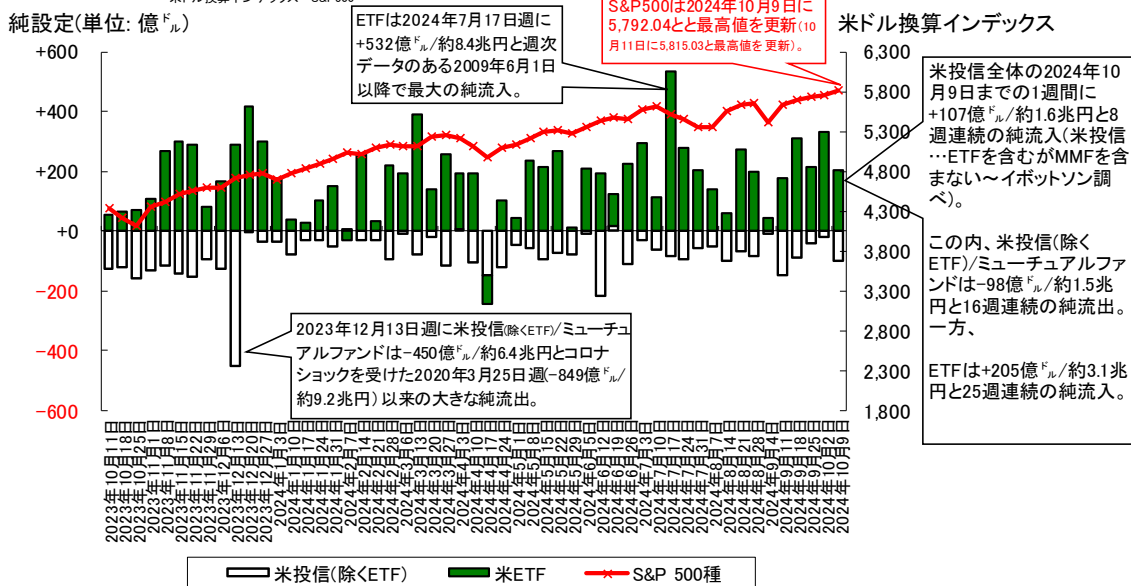
NYダウは2024年10月14日に43,065.22米ドルと過去最高値を更新。 2024年8月5日の直近安値(38,703.27米ドル)から+11.3%上。S&P500も2024年10月14日に5,859.85と最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(5,186.33)から+13.0%上。



米国の 投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移 (2023年10月11日 ~ 2024年10月9日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)… モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

その中、2024年10月9日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は-80億ドルと4週ぶりの純流出。** 一方、**セクター株は+11億ドルと7週ぶりの純流入、外国株は+76億ドルと3週連続の純流入で加速傾向。** **債券は+71億ドルと19週連続の純流入。** オルタナティブは+9億ドルと5週連続の純流入、コモディティは+8億ドルと8週連続の純流入。

投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1～3位は、中国株、米国超短期債、米國中長期コア債。**



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-10-09現在

***ETFを含むがMMFを含まない。 週次推計の為、月次のものとは異なる。**

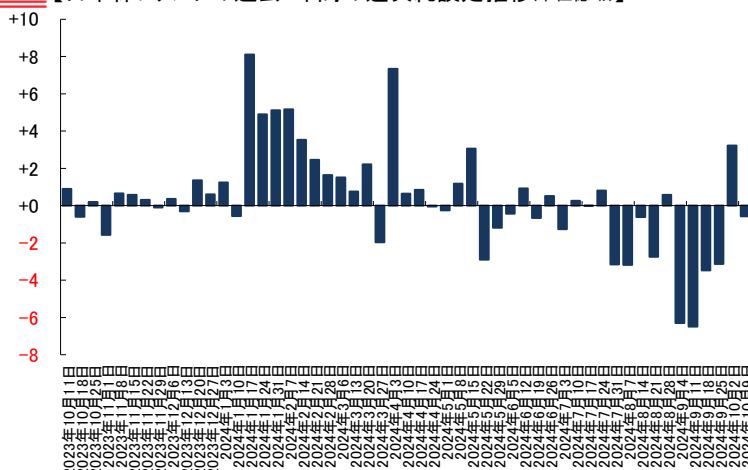
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	China Region	+7,549	+3,644	+11,163	37,564	中国株
2	Ultrashort Bond	+1,316	-4,448	+2,462	325,909	米国超短期債
3	Intermediate Core Bond	+1,288	+1,766	+6,690	722,799	米国中長期コア債
4	Short-Term Bond	+1,285	+1,140	+3,561	346,190	米国短期債
5	Trading--Leveraged Equity	+933	-226	+1,724	106,667	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
6	Derivative Income	+809	+774	+2,707	99,630	デリバティブ・インカム
7	Intermediate Core-Plus Bond	+754	+2,893	+5,334	617,043	米国中長期コアプラス債
8	Multisector Bond	+693	+1,530	+3,924	150,286	マルチセクター債
9	Foreign Large Blend	+688	+1,405	+4,788	1,037,318	外国大型ブレンド株
10	Equity Energy	+671	-653	+462	62,931	エネルギー株(非MLP)
24	Technology	+272	-1,318	-920	364,042	米国テクノロジー株
31	Pacific/Asia ex-Japan Stk	+135	-12	+115	14,994	アジアパシフィック株(除く日本)
89	Japan Stock	-57	+262	-501	35,913	日本株
108	India Equity	-186	-15	+18	21,607	インド株
113	Small Growth	-329	-86	-407	193,832	米国小型グロース株
114	Short Government	-342	+87	+231	74,086	米国短期国債
115	Moderate Allocation	-345	-151	-1,017	495,125	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
116	Inflation-Protected Bond	-429	+191	-374	70,330	米国インフレ連動債
117	Foreign Large Growth	-435	-530	-1,281	394,903	外国株大型グロース株
118	Large Growth	-563	-3,841	-936	2,204,400	米国大型グロース株
119	Corporate Bond	-757	-465	+141	168,394	社債
120	Large Value	-1,475	+16	-1,708	1,464,812	米国大型バリュー株
121	Mid-Cap Growth	-1,507	-1,238	-3,954	333,794	米国中型グロース株
122	Large Blend	-4,516	+22,132	+29,098	4,575,961	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
全122分類の合計		+10,667	+30,756	+80,720	20,582,460	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+2.08	+1.00	+7.99		
S&P500		+1.47	-0.20	+4.39		
MSCI ワールド		+0.84	-0.19	+4.00		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

日本株は最新10月9日週に-5700万ドル/約85億円と、半年ぶり来の大きな純流入だった前週から再び純流出となり全122分類中89位(←前週21位)。 日本株は8月下旬から、ミューチュアルファンドもETFも大幅な純流出が続いていたが、**石破茂氏が自民党新総裁に決定(9月27日)、日経平均が9月30日に急落(前営業日比-1,910.01円/-4.80%の37,919.55円)**した10月2日週は+3.2億ドルと4月3日週(+7.3億ドル)以来の大きな純流入となった。このうち、ミューチュアルファンド/米投信(除くETF)は+5500万ドルと2023年5月17日週(+1億ドル)以来一年半ぶりの大きな純流入、ETFは+2.7億ドルと2024年5月15日週(+2.9億ドル)以来約4か月ぶりの大きな純流入となった。

【日本株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】

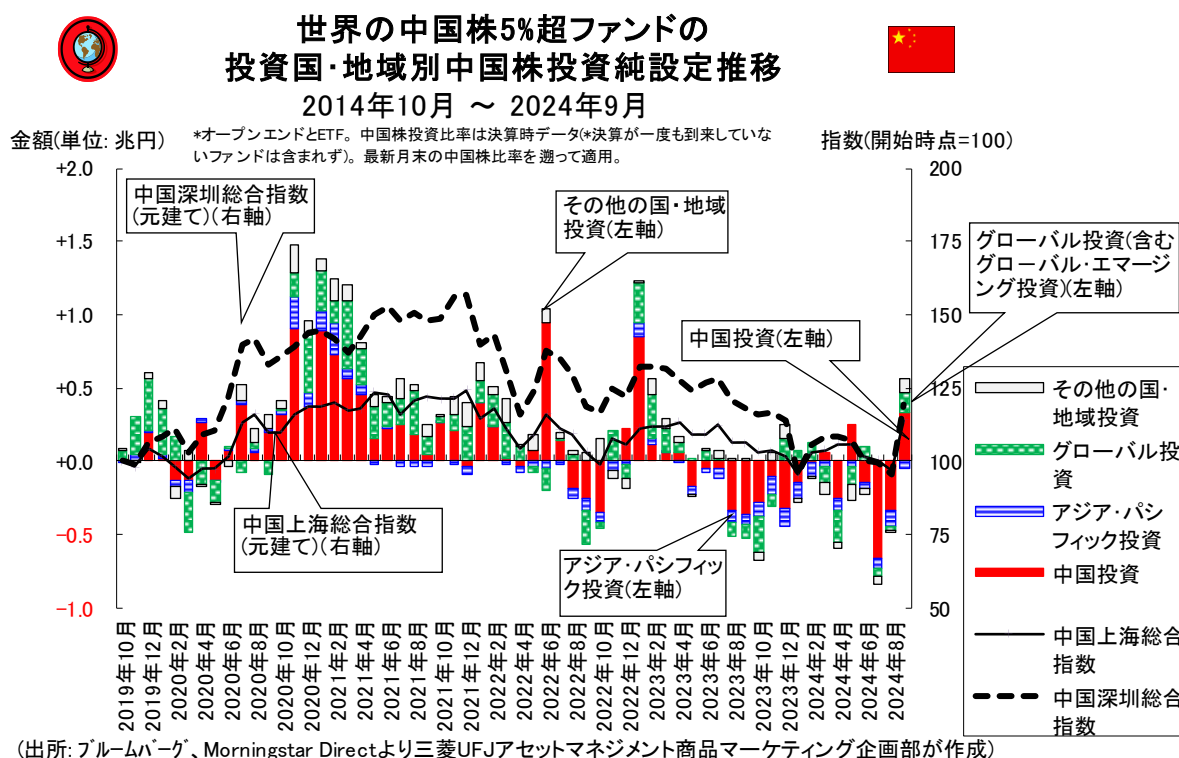


このローテーションの動きによって、中国以外のアジア株の好調は終わりを迎える可能性がある。これまでは投資家が中国以外でより良好なリターンを追求する中、他のアジア株が恩恵を受けていた。今年の大半は、台湾株が半導体株を中心に値上がりしたほか、インド株は経済成長の加速を背景に上昇。東南アジア市場は、米国の金利低下によって押し上げられた。…(略)…。BNPのストラテジストは(10月)2日のレポートで『一部の海外投資家が日本のオーバーウエートのポジションを縮小し、再び中国に資金を配分しているとわれわれは考えている』と指摘した。ただ、誤解のないように言えば、このシフトはまだ初期段階にある。インドや、中国を除いた新興国市場の商品から、海外資金の大きな流出は起きていないとBNPは指摘する。シンガポールのSGMCキャピタルのファンドマネジャー、モヒト・ミルプリ氏は、現時点では時期尚早であるものの、『日本やインドから中国へのローテーションを支持する見方』が浮上する可能性がある」と指摘。」と報じている(強調下線は当レポート筆者、2024年10月3日付Bloombergは「China's Sudden Stock Rally Sucks Money From Rest of Asia」)

～ <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2024-10-03/SKR37TTHU0W000>)o

世界のファンド(オープンエンド・ファンドとETF)の中国株への投資を推計する(推計方法等については2022年4月25日付日本版ISAの道 355「ロシア・ウクライナ戦争後、BRICSが新世界秩序の中心? 世界のマネーフロー(資金の流れ)はどう変化したか～世界のロシア株・中国株投資ファンド動向～」～ https://www.mmf.jp/text/whitenee_220425_j.pdf)。なお、中国籍は純資産は含んでいるが、純設定はデータ欠落の為に除いている。

世界の中国株5%超ファンドの純資産は2024年9月末現在、約553兆円、うち中国株投資純資産は約197兆円。世界のファンドの中国株投資を示すファンドの純設定は2024年9月に+5,180億円と7か月ぶり純流入(←2024年8月-4794億円←7月-8433億円←6月-1202億円←…(略)…←2024年2月+90億円)。2024年9月に最大の純流入は米国籍ETFの「クレーンシェアーズCSIチャイナインターネットETF/KraneShares CSI China Internet ETF (KWEB)」(中国株投資比率99.02%)。中国株投資純資産の大きさで9位となっている(中国株投資純資産の1位は米国籍ETF「iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット ETF (IEMG)」(中国株投資比率24.41%)。



以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会